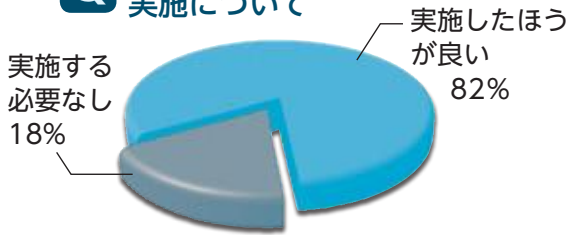


委員会 トピックス

広報広聴常任委員会

みんなの声 がまちを変え る

Q くるま座ミーティングの 実施について

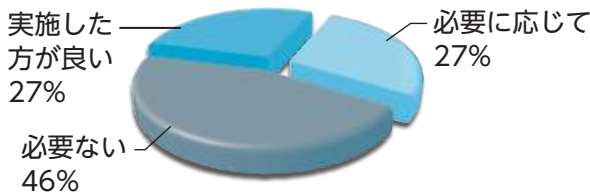


ご意見

- 地元議員が活動報告会を開催しており、議会の動きを把握しているのだから必要ない
- 例年どおり「報告」になってしまうのではないかと心配

これまで「議会報告会」という名称で各行政区を訪問していましたが、より一層町民の皆さまに議会を身近に感じ、気軽に参加していただけるよう「議会くるま座ミーティング」「議会かたるべサロン」に改名し企画しました。さらに、実施方法を検討するため、各行政区長へアンケート調査を実施しました。その結果は次のとおりでした。

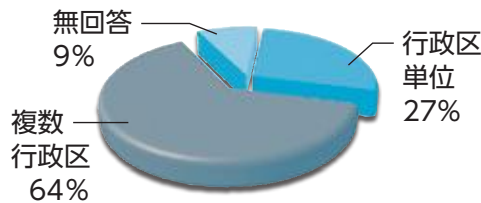
Q くるま座ミーティングとは別に、 議会活動を報告する場の実施について



ご意見

- これまでの「報告会」であれば必要なし
- 新年度予算審議後、町内2～4か所で開催内容を報告すべき
- 必要に応じてゆめりあ等で実施しては

Q くるま座ミーティングの 開催方法について



ご意見

- 基本は行政区単位であるが、出席者数を考慮すると合同開催もありえるのではないかと
- 議員さんが来てくれても、人数集めが大変

「アンケート結果の考察」

「聴く」に重点を置く

議会活動の報告会であれば「必要ない」「年に1回」などの意見が多く、情報交換に主軸を置いた取り組みが必要。

開催の方法

聴くための意見交換であれば少人数が望ましいが、開催の効率化を重視し、複数行政区合同での開催を望む声が多い。

開催時期

市街地域と農村地域では希望が異なるため、希望に沿う時期での開催が必要。

テーマの設定

テーマがあると話しやすいという意見が多い反面、テーマ以外の話をしたい方が参加しにくい状況も懸念される。行政区を対象としたミーティングとテーマごとのミーティングの双方実施も視野に入れる。

情報収集と処理の流れ

